

# 音楽科の学習方法

## 1 日常生活の中での学習

- (1) 表現や鑑賞の活動を通して、美しいものを美しいと感じ、感動を共有できる豊かな心を育てましょう。  
音楽を愛好する心情は、日々の生活を明るく豊かにします。
- (2) 音楽は各教科とのつながりが多い教科です。風土・文化・歴史・美術・言語などの理解を深め、表現や鑑賞につなげていきましょう。
- (3) 授業だけでなく様々な場面で感性を磨きましょう。(自然の中にある音に耳を傾ける。地域の伝統音楽・祭り太鼓・阿波踊りの鳴り物・絵画鑑賞・文学など)
- (4) 日本や世界の様々な音楽作品や作曲家に興味を持ちその魅力を味わいましょう(TV・CD・DVD・ラジオ等から流れる様々な音楽や、機会をとらえ生演奏にも親しもう!)

## 2 授業がわかるための学習のポイント

- (1) チャイム着席と学習準備 (教科書・キャンパス・AR・筆記用具)  
忘れ物をすると学習活動がスムーズに進みません。授業前に必ず確認!
- (2) 学習の目標をつかむ 何となく歌ったり聴いたりするのではなく、毎時間の目標や説明をしっかりと聞き、目標を持って活動しましょう。
- (3) 積極的な授業への参加 しっかりと歌ったりリコーダーを吹いていると自然に歌詞や階名を覚えることができます。そして、よりよい演奏につながります。
- (4) ペア学習・パート練習・全体練習に、全員が協力して取り組む態度が大切です。
- (5) 繰り返し練習して、表現する楽しさを味わいましょう。  
(練習中、分からないことや困ったときには、友達や先生に質問する。)
- (6) 鑑賞 その曲の時代や文化、作曲家や周りの人々の生き方にも関心を持ちましょう。曲のイメージや感想を絵や図、言葉で表す力をつけましょう。
- (7) 自己評価 前向きな取り組みができていたか、演奏できるようになったところが増えたか自分で自分を評価し次回の授業に生かしましょう
- (8) プリントなど、提出物は必ず提出しましょう。

## 3 テスト前の学習のポイント

- (1) 授業中に教科書・キャンパスに書き込んだ内容(授業中「ここが大事!」と言われたところ)の確認や音楽記号・用語の意味を自主勉強ノートに書いて、繰り返し復習する。
- (2) テスト範囲の曲を歌ったりリコーダーで演奏したり指揮してみる。  
(歌詞・リコーダーの指遣い・拍子)
- (3) キャンパスやプリントの問題を解き直す

